

校種	小・㊤	学校番号	1 2	学校名	宇都宮市立瑞穂野中学校
----	-----	------	-----	-----	-------------

平成24年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

人間尊重の精神を基盤に、豊かな心と個性をもち、自主性・創造性を発揮して、21世紀をたくましく生きる人間を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- ・心身ともに健康で気力あふれる生徒
- ・自ら学び創造性に富む生徒
- ・勤労を尊び責任感のある生徒
- ・思いやりがあり心豊かな生徒

2 学校経営の理念

テーマ 生徒が充実感や達成感を味わえる学校 保護者・地域住民から信頼される学校づくり

変化の大きい社会の中でたくましく生きていくためには、学習や生活における基礎・基本の定着と生涯にわたって学び続ける意欲や態度の育成を図り、生徒に充実感や達成感を味わわせることにより自信をもたせるとともに、自己の存在感を高めさせることが重要である。また良好な人間関係を構築していくための豊かな人間性の育成も必要であり、そのためには、友達や教職員はもとより、保護者や地域住民とのかかわりが重要であるとする。地域学校園の中で、小学校との連携を強め、保護者や地域住民の信頼を得ながら、ともに生徒を育んでいきたい。

3 学校経営の方針（地域学校園内で共通する方針は、文頭に○または該当箇所に下線）

- (1) 9年間を通して生きる力をはぐくむ小中一貫教育の最終段階として、学びを広げ深められる環境を整える。
- (2) 生徒が安心して自分の成長と向き合うことができるように、公正で温かな学校づくりに努める。
- (3) 教師自ら豊かな心と愛情を持ち、全校的な協力体制のもとで、本校の歴史と伝統を生かした、調和と統一のある教育活動を展開推進する。
- (4) 教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間を通して、生徒自らが考え行動できる資質を養うため、創意ある教育課程編成に努める。
- (5) 多様な生徒の存在を認識し、適正な生徒理解や指導方針に基づき、個に応じた適切な指導ができるように努める。
- (6) 教職員は、常に自己研鑽に励み、専門職としてその資質の向上に努める。
- (7) 小学校や保護者・地域社会との連携を密にし、開かれた学校をめざし、特色ある学校づくりに努める。
- (8) 本年度の努力点と具体策を設定し、その具現化に努め、教育目標達成をめざす。

4 今年度の重点目標（地域学校園内で共通する重点目標は、文頭に○または該当箇所に下線）

- (1) 学校運営
学校園内小学校・家庭・地域との連携を図り生徒の学びの質を向上させる学校づくりの推進
- (2) 学習指導
自ら学び考える力を育成し、基礎・基本の知識・技能の定着を図る学習指導の在り方
～言語活動の充実を図り、目標を明確にした、わかる授業の実践を通して～

(3) 児童生徒指導（児童生徒指導）

思いやりの気持ちを持ち、正しい判断のもと、粘り強く最後までやり遂げることができる生徒の育成

(4) 健康（保健安全・食育）・体力

自ら進んで健康や体力の向上に励むことのできる生徒の育成

5 学習指導、道徳教育（児童生徒指導）、健康（保健安全・食育）・体力に関する取組

※ 別添 1 ～ 3 参照

6 特色ある学校づくりに関する取組

(1) 育てたい資質・能力（地域学校園内で共通するものは、文頭に○または該当箇所に下線）

- ・友達や教職員、地域住民とのかかわりを深め、協力して行う活動を体験する中で、地域のよさを自覚し郷土への親近感を持ち、社会の一員としてよりよい生活を築いていこうとする態度の育成

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」関連には、文頭に◇）

地域との連携を図った豊かな心を育てる体験活動の充実

①学校行事、生徒会活動

- ・体育祭での高齢者との交流
- ・文化祭での保護者、地域の子どもや高齢者、障がい者との交流
- ・地域学校園内の特別養護者人ホームでの委員会生徒を主体とするボランティア活動
- ・地域学校園内小学校との中学校を紹介するための交流活動

②総合的な学習の時間

○◇地域の方々を指導者迎えての地域と共に行うホタルの飼育体験学習

◇地域の清掃奉仕活動や稲作活動を通した環境学習

③常時活動

- ・「私たちは目指す」の実践と評価
- ・日常の学校生活における「学びあい 喜びあい 励ましあう」場面の意図的な設定

④その他

- ・親子奉仕活動による地区内清掃
- ・地域の行事（瑞穂野地区れんげ祭り、瑞穂野地区農業祭・文化祭等）へのボランティア生徒の参加